

シハロホップブチル・シメトリン・ベンフレセート・MCPB粒剤 ザーベックス DX 1キロ粒剤	取扱メーカー： 三井アグロ、ホクサン 原体メーカー： ダウ、シンジェンタ、OAT、 日本化薬
成分： シハロホップブチル〔フェノキシ酸系 PRTR・1種〕…1.5% シメトリン〔トリアジン系 PRTR・1種〕……………4.5% ベンフレセート……………6.0% MCPB〔フェノキシ酸系〕……………2.4%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】……………

●4種類の除草成分を効果的に配合した水稲用中期除草剤で、クリーンアップ剤としての特性を備えた除草剤である。

●ノビエ3.5葉期までの広い処理適期幅を有する。

●クログワイ、シズイ等の難防除雑草にも有効である。

●問題となっているアゼナ類やタウコギ、アメリカセンダングサ等一年生広葉雑草、アオミドロなどの藻類や表層はく離に対する仕上げ剤として有効である。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧表」を参照。

●スルホニルウレア抵抗性を獲得したホタルイ、アゼナ類、コナギ等にも効果を示す。

【使用上のポイント】……………

●共通注意事項5、水稲除草剤散布 使用上のポイント参照。

●散布後少なくとも3～5日間は通常の湛水状態を保つ。

●多年生雑草は生育段階によって効果にフレが出るので必ず適期に散布する。

〈移植水稲〉

雑草名	散布適期
ホタルイ	3葉期まで(北海道、関東以西) 2葉期まで(東北、北陸)
ウリカワ	3葉期まで(北海道、関東以西) 2葉期まで(北陸)
ミズガヤツリ	3葉期まで(関東以西) 2葉期まで(東北、北陸)
ヘラオモダカ	2葉期まで(北海道) 発生始期まで(東北、九州)
エゾノサヤヌカグサ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
オモダカ クログワイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで

〈直播水稲〉

雑草名	散布適期
ホタルイ ウリカワ	3葉期まで
ミズガヤツリ	2葉期まで
シズイ	草丈3cmまで
ヒルムシロ	発生期まで
オモダカ クログワイ アオミドロ・藻類 による表層はく離	発生始期まで

●オモダカ、クログワイ及びシズイは発生期間が長く、遅い発生のものは十分な効果を示さないので、有効な前処理剤との組合せで使用する。

●移植前後又はは種後の初期除草剤による土壌処理との組合せで使用する場合には雑草の発生状況をよく観察し、時期を失わないように適期に散布する。

●処理時期の平均気温が15～16℃以下の場合には使用しない。

●北海道では稲5葉期以下では使用しない。

【薬効・薬害等の注意】……………

●共通注意事項の5. 水稲除草剤散布 薬効・薬害等の注意を参照。

●適用作物（水稲，乾田直播水稲）の薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●適用外作物（とうもろこし，食用びえ，ソルガム等のいね科作物）への薬害などの注意は「薬害注意事項解説」を参照。

●田面水からの揮散により，きゅうりなどの生育を阻害するおそれがあるので，これらの生育期に隣接田で使用する場合は十分注意する。

●散布後の異常高温が予測される場合は使用しない。

●乾田直播では，入水前散布の除草剤との組合せで使用する。また入水後漏水が少なくなってから散布する。

●散布後に多量の降雨が予想される場合は除草効果が低下することがあるので使用をさける。

【安全対策上の注意】……………

●魚類，藻類に影響を及ぼすので，使用時は注意。

●眼に対して刺激性があるので眼に入った場合には直ちに水洗し，眼科医の手当を受ける。

●カブレやすい体質の人は取扱いに十分注意する。

【適用と使用法】……………

作物名	適用雑草名	適用土壌	使用時期	10a当り 使用量	使用 方法	適用地帯	本剤の 使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ウリカワ (東北を除く) ミズガヤツリ (北海道を除く) エゾノサヤマカグサ (北海道) ヘラオモダカ (北海道，東北，九州の早期) オモダカ (九州の早期を除く) シズイ（東北） クログワイ（東北，関東・東山・東海，近畿・中国・四国） ヒルムシロ（東北，北陸を除く） アオミドロ・藻類による表層はく離 (東北，北陸を除く)	砂壤土 ～埴土	移植後20～30日 (ノビエ3.5葉期まで) (移植前後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)	1 kg	湛水 散布	全域(九州を除く)の普通期栽培地帯及び関東以西の早期栽培地帯	1回※
直播水稲	水田一年生雑草 マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ アオミドロ・藻類による表層はく離		稲5葉期～ ノビエ3.5葉期まで 但し，収穫60日前まで (は種後の初期除草剤による土壌処理との体系で使用)			全域 (九州を除く)	

※シハロホップブチルを含む農薬の総使用回数：3回以内

※シメトリンを含む農薬の総使用回数：2回以内

※ベンフレセートを含む農薬の総使用回数：2回以内

※MCPBを含む農薬の総使用回数：2回以内